



廣俊明の舌側矯正セミナー

TOSHIAKI HIRO

講師紹介

1994年 ひろ矯正歯科開設
 1997年 日本矯正歯科学会指導医
 2003年 英国矯正歯科認定医 (M-Ortho RCSEd)
 2005年 ヨーロッパ矯正歯科専門医 (EBO)
 2006年 日本矯正歯科学会認定医 (JOB)
 2008年 WorldBoard of Lingual Orthodontics

受講費用 / 1日目：レクチャー84,000円 / 2日目：ラボ実習 (コア完成迄) 252,000円

レクチャー：2011年9月11日(日)10:00～17:00

実習：2011年9月12日(月)10:00～17:00

2010年10月、2011年3月に行いましたインダイレクトコアの作成&実習です。IBSのラボは舌側矯正を行っていく上で絶対に必要なものです。

会場：東京ステーションコンファレンス www.tstc.jp

■お詫びとご報告

9.11セミナーは、新しいリングラブラケットの紹介と、その詳細についてお話をさせていたくださる予定でしたが、スケジュールが大幅に遅れておりますので、「9.11セミナー、何かが起こる」は中止とさせていただきます。9.11セミナーには、すでにたくさんの先生からお申込をいただいております、誠に申し訳ありません。ご参加いただいた先生方に必ずご満足いただけるブラケット、必ずご満足いただけるセミナーにしたいと云う思いから、このように決断いたしました。新しいブラケットに関するセミナーは延期しますが、状況が整い次第、再度ご案内申し上げます。

9月11日には、昨年11月・本年3月に行ったセミナーと同じ内容のセミナーを再度行います。これは「昨年11月・本年3月に行ったセミナーは、もうやらないのか」と云うメールを今もたくさんいただいております、ご要望にお応えするために行います。11日は終日レクチャーで、舌側矯正ビギナーの方から、経験豊富な先生までご満足いただける内容となっております。12日は、舌側矯正を行っていく上で絶対に必要なラボの実習を行い、実際にコア製作までご自身で行っていただけます。少人数で締め切る予定ですので、前回、前々回と予定が合わなかった先生や技工士さんは、お早めにお申込ください。受講費用は、9.11セミナーとは異なり、前回、前々回と同様になっておりますので、ご注意ください。

■廣俊明の舌側矯正セミナー内容

なぜ、リングラで失敗するのか？
 リングラは本当にアンカレッジが強いのか？
 リングラの診断は、ラビアルと同じで良いのか？
 その理由は？
 ミニスクリューの活用法は？
 世界の有名な先生達と、ヒロの何処が違う？
 ラボワークの種類とそれぞれの特徴は？
 スペースクローズの仕方と注意点は？
 ループメカニクスの問題点は？
 スライディングで閉じない場合はどうする？
 フィニッシングとディテールリングのヒントは？
 Bowing Effectは何故起こる？
 リングラに適した接着剤は？
 STbや Incognito, Lingual Straight wire は？
 ヒロブラケットの特徴は？

■ 講師から一言：10年ぶりに開催した2010年10月、2011年3月の廣セミナーには、北海道から沖縄まで全国から160名の先生にお集まりいただきました。参加された先生からは、初日のレクチャーだけでも50万円以上支払う価値のある内容だった、との絶賛をいただきました。今回のレクチャーも、必ずお役に立てる内容であると思っております。

申込はFAX, e-mailで受付を行っております。 FAXでお申込の場合は、下記に必要事項をご記入の上、送信してください。E-mailでお申込の場合は、ご希望のコース、所属、連絡先を明記してください。受け付けた方には、1週間ほどでメールにてご連絡させていただきます。

申込先 FAX : 0263-54-6740 e-mail : info@mienai.com 〒399-0702 長野県塩尻市広丘野村 1658-23 Tel : 0263-54-6622

■ いずれかに☑印をご記入ください。受講：1日目レクチャーのみ 1日目レクチャーと2日目の実習 2日目の実習のみ(前回参加者のみ)

申込書

お名前： _____ 医院名/技工所名： _____

ご住所：〒 _____

電話番号： _____ FAX番号： _____

E-mail： _____ リングラ治療経験： _____ 症例 _____

■お願い：返信メールを送信しても返ってきちゃう先生が多く、困っております。メールアドレスは大きく、特にr(アール)とv(ブイ)、I(アイ)と1(イチ)、-(ハイフン)と_(アンダーバー)はわかりやすく「フリガナ」を表記してお書きください。